

世の終わり

世の終わりの前兆...

民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり、方々にききんと地震が起こります。

また、にせ預言者が多く起こって、多くの人々を惑わします。不法がはびこるので、多くの人たちの愛は冷たくなります。

ただし、その日、その時がいつであるかは、だれも知りません。

いちじくの木から、たとえを学びなさい。枝が柔らかくなって、葉が出てくると、夏の近いことがわかります。そのように、これらのことのすべてを見たら、キリストが戸口まで近づいていると知りなさい。

(マタイ24)

人々はあざける...

終わりの日に、あざける者がやって来てあざけり、自分たちの欲望に従って生活し、次のように言うでしょう。「キリストの来臨の約束はどこにあるのか。先祖たちが眠った時からこのかた、何事も創造の初めからのままではないか。」

(ペテロ第二3：3～4)

神は人を滅ぼすことを好まない...

主は、ある人がおそいと思っているように、その約束のことを遅らせておられるのではありません。かえって、あなたがたに対して忍耐深くあられるのであって、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。しかし、主の日は、盗人のようにやって来ます。その日には、天は大きな響きをたてて消えうせ、天の万象は焼けてくずれ去り、地と地のいろいろなわざは焼き尽くされます。

(ペテロ第二3：9～10)

キリストのしるしが天に現れる...

そのとき、人の子〔キリスト〕のしるしが天に現れます。すると地上のあらゆる種族は、悲しみながら、人の子が大能と輝かしい栄光を帯びて天の雲に乗ってくるのを見るのです。

(マタイ24：30)

罪の赦し...

「わたしは彼らの咎を赦し、彼らの罪を二度と思い出さないからだ。」

(エレミヤ3 1 : 3 4)

神の憐れみ...

あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たのではなく、神からの賜物です。行いによるものではありません。だれも誇ることもないためです。

(エペソ2 : 8 ~ 9)

わたしは決して悪者の死を喜ばない。かえって、悪者がその態度を悔い改めて、生きることを喜ぶ。悔い改めよ。悪の道から立ち返れ。

(エゼキエル3 3 : 1 1)

神の変わらぬ愛...

「あなたはわたしに忘れられることはない。わたしは、あなたのそむきの罪を雲のように、あなたの罪をかすみのようにぬぐい去った。わたしに帰れ。わたしは、あなたを贖ったからだ。」

(イザヤ4 4 : 2 1 ~ 2 2)

0 2

和解...

神は、キリストにあって、この世をご自分と和解させ、違反行為の責めを人々に負わせない。

(コリント第二 5 : 1 9)

神の和解を受け入れなさい。

(コリント第二 5 : 2 0)